

有明地域医療構想調整に係る部会 協議結果

1 部会開催日時

令和 4 年 10 月 21 日（金）20 時～20 時半

2 出席者

安成（部会長）、吉村、佐々木、山下、大島、浦田、岡本、古森、安田、平山、福本
中島 計 12 名

3 対象医療機関の病床機能再編計画

慢性期病床（14 床）を令和 4 年度内に廃止し、無床診療所への変更を予定。入院病床は無くすものの、自宅並びに有料老人ホームやその他介護施設等において在宅医療を継続する等、無床診療所として引続き地域医療に貢献する方針

4 対象医療機関の病床機能再編の理由

平成 30 年の病床機能報告時においては 6 割以上の稼働率であったが、新型コロナウイルス感染症の影響や、地域における医療人口の減少、有料老人ホーム等の介護病床等の増加もあり入院患者数も減少傾向であった。さらに職員確保が困難になりつつあることから、今後は入院病床ではなく関連する有料老人ホームやその他地域の介護施設等との連携を深め地域医療に貢献をおこなうとの事。

5 病床機能再編に対する部会からの意見

30 年以上の長期にわたり、学校医や警察嘱託医をはじめとした地域医療への貢献も多大であると同時に、引続き特別養護老人ホーム・養護老人ホームの嘱託医も担われる。また、外来診療だけでなく自宅等で療養する患者さんへの訪問診療等も継続される等、地域のかかりつけ医として重要な役割を担われることも部会協議で確認された。

以上の協議結果をもって、今回の病床機能再編にかかる申出については玉名郡市医師会地域医療構想検討部会 出席部会員一致で必要であることが確認された。

協議書（単独病床機能再編計画）

医療機関名	吉田医院
所在地	熊本県玉名市繁根木228
現行の許可病床数 （病床機能）	14床（慢性期）
病床稼働率 （H30年度）※	66.3％ ※国のルールにより平成30年度稼働率を記載
変更後の 許可病床数	0床
減少前の病床機能を慢性 期として選択している理 由	当院では、慢性期患者が多く、療養病床では寝たきりの管理を行っていた。（看取りも含める。）また、一般病床では、交通事故・腰椎圧迫骨折など、安静が必要な人の管理も行っていた。
病床数の減少前の役割	内科・外科・整形外科の患者の入院治療を行っていた。例えば、糖尿病で高齢者に対してインスリン投与を行い、また、整形外科の患者には電気治療・歩行訓練・疼痛緩和等のリハビリを行っていた。近隣の基幹病院との連携を行い、精査・手術・入院の必要がある患者を紹介するかかりつけ医の機能を担っている。
病床数の減少後の役割	病床を廃止し、引き続き地域のかかりつけ医として基幹病院と連携しながら外来治療に力を入れていく。また、連携している特別養護老人ホーム・老人ホームの利用者の健康管理を行う。産業医として、月1回の安全衛生委員会に出席し、労働者の健康管理を行う。高校校医・警察嘱託医等、玉名市の地域医療に貢献したいと思っている。
病床数減少のスケジュール	令和4年度内に無床診療所への変更。
計画完了までの病床数 の変遷について	別紙1のとおり

計画完了までの病床数の変遷について

医療機関名	吉田医院
-------	------

区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	
								うち対象3区分(※) の合計
平成30年度病床機能報告	許可病床数				14		14	14
	稼働病床数				14		14	14
平成元年度病床機能報告	許可病床数				14		14	14
	稼働病床数				14		14	14
令和2年4月1日時点	許可病床数				14		14	14
	稼働病床数				14		14	14
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0	0
	稼働病床数						0	0
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0	0
	稼働病床数						0	0
令和5年3月31日時点(計画完了時) (令和5年3月31日までに 必ず完了させてください)	許可病床数				0		0	0
	稼働病床数				0		0	0

※対象3区分＝高度急性期、急性期、慢性期